

おのの議会だより

No.220

令和4年10月25日



自然ふれあい探検隊 木瓜川の生き物と水質調査に子どもや保護者31人が参加（9月18日開催）

主な内容

9月定例会の概要	2・3ページ
一般質問の概要	4～8ページ
常任委員会審査報告	9・10ページ
議案等の各議員表決	11ページ
特別委員会報告	12ページ

大野市議会では、議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報をホームページでも掲載しています。ぜひご覧ください。



発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

補正予算
の議案

議案第40号・53号
令和4年度大野市一般会計補正予算
(第4号・5号)

可決

9月
定例会の概要

補正前の予算額 → 補正額(増額) → 補正後の予算額
181億4166万円 3億5776万円 184億9942万円

補正のあった主な内容	補正額	補正後の額
【豪雪地帯安全確保緊急対策事業】 地域ぐるみで行う屋根雪下ろし資機材及び小型除雪機の購入に補助	839万円	1339万円
【クリーン農業スタート事業補助】 バッテリー充電式刈払機への買い換え・新規購入に対する補助の増額	150万円	185万円
【価格高騰緊急支援給付金給付事業】 住民税非課税世帯等に、1世帯当たり5万円を給付する経費	1億4325万円	1億4325万円
【新型コロナウイルスワクチン接種事業】 オミクロン株対応ワクチン接種等の実施に係る経費の増額	9777万円	2億4926万円
【保育所等整備事業補助】 認定こども園が行う防犯対策のための設備整備に補助	74万円	74万円
【林業事業体労働安全衛生推進事業補助】 林業事業体が行う安全装備、作業用品等の整備に補助	100万円	100万円
【九頭竜保養の里管理運営経費】 フレアール和泉の営業再開に向け清掃の実施など(九頭竜温泉平成の湯は10月1日に営業再開しました)	227万円	3165万円
【六呂師高原活性化事業】 うらら館の敷地の取得経費	2200万円	2200万円
【大野油坂道路大野・勝原間開通記念イベント負担金】 大野油坂道路大野IC～勝原IC間の開通記念イベント実施(3月予定)に一部負担する経費	200万円	200万円
【都市公園整備事業】 県道皿谷大野線の整備に伴い、中ノ堂公園移転のための詳細設計の実施に係る経費	800万円	800万円
【消防団消防操法大会出場経費】 大野市消防団第6分団の全国消防操法大会出場に係る経費	292万円	502万円
【文化財保存活用地域計画推進事業】 文化庁の認定を受けた文化財保存活用地域計画の印刷経費	216万円	216万円

第429回定例市議会が9月5日から9月26日までの22日間の会期で開催されました。
今回の定例会では、令和4年度一般会計補正予算案、条例の改正案、市道路線の認定、人事案件など全15議案のほか、市会案2件、陳情3件について審議しました。審議結果は、11ページのとおりです。

条例の改正等

大野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案

国に準じ、育児休業の取得要件等について所要の改正を行いました。

その他の議案

市道路線の認定について
新たに春日三丁目9号線を市道路線に認定しました。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦について
引き続き、太田温子氏(中津川)を推薦することに同意しました。

特別会計補正予算

大野市水道事業会計、大野市簡易水道事業会計、大野市下水道事業会計は、令和5年10月1日開始予定の適格請求書保存方式(インボイス制度)に対応するため、水道料金システム等の改修委託料の増額が主なものです。

陳情

地方財政の充実・強化に関する意見書採択について

自治労福井県本部執行委員長 大嶋智氏からの本陳情は、趣旨採択として

免税軽油制度の継続を求める陳情書

森山観光株式会社代表取締役社長 三輪欣也氏ほかからの本陳情は、採択としました。

ました。

「名水百選」御清水を守る」ことを求める陳情書

名水百選「御清水」を守ろう会 木下真澄氏ほか

かからの本陳情は、不採択としました。

市会案

次の二つの市会案を全会一致で可決しました。

免税軽油制度の継続を求める意見書について

冬季観光の中心を担うスキー場の維持・発展を図るため、また農林業等関連産業の保護及び事業者の経営安定を図る上か

からも、軽油引取税の課税免除特例措置について、令和6年度以降も継続を



九頭竜スキー場

求める意見書を政府関係機関に提出することとしました。

大野市議会委員会条例の一部を改正する条例

大野市議会議員の定数減に伴い、常任委員会の名称等所要の改正を行いました。

来年3月定例会から、これまでの3常任委員会から2常任委員会（総文厚生常任委員会、くらし産業常任委員会）になります。

専決処分された予算の概要

・議案第48号 令和4年度一般会計補正予算（第3号）1515万円を追加

承認

議案	補正のあった主な内容	補正額	補正後の額
48号	【農業用施設単独災害復旧事業】 農業用排水路等の機能回復のため、たまった土砂の除去	110万円	160万円
	【林道施設単独災害復旧事業】 被災した林道復旧のための測量実施や土砂の除去	740万円	790万円
	【公共土木施設単独災害復旧事業】 被災した市道復旧のための測量実施	170万円	670万円
	【公用施設災害復旧事業】 被災した富田産業団地共通緑地の復旧工事を実施	495万円	495万円

決算特別委員会

令和3年度の大野市歳入歳出決算等の審査を行うため決算特別委員会を設置しました。本会議において各会計の決算議案が決算特別委員会に付託され、10月11日から17日にかけて審査を行いました。

決算特別委員会委員

委員長	廣田 憲徳
副委員長	伊東 由起恵
委員	白崎 貴之
委員	高田 育昌
委員	梅林 厚子
委員	永田 正幸
委員	榮 正夫

付託議案

議案第49号	令和3年度大野市歳入歳出決算認定について
議案第50号	令和3年度大野市水道事業会計の決算認定について
議案第51号	令和3年度大野市簡易水道事業会計の決算認定について
議案第52号	令和3年度大野市下水道事業会計の決算認定について

インターネット放映

本会議の様をインターネットで録画配信しています。大野市のホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください。

ただし、閲覧の前には、免責事項をよくお読みくださいますようお願いいたします。

特にスマートフォンによる視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金請求がくる場合がありますのでご注意ください。

コロナ禍の経済政策に、どのようなビジョンで取り組むのか



新風会・公明

たかだ やすまさ
高田 育昌 議員



市内事業者や市民の皆さまが必要とされる支援を必要なタイミングで届けていく

問 コロナ禍での経済活動は、行動自粛要請に伴う補助金政策から、ウィズコロナの経済政策にかじ取りされつつあるが、本市の対策とビジョンは。

答 売り上げが減少した事業者への大野市版中小企業者等事業継続支援金、原油・資材価格の高騰により経費や売上原価の増加に苦しむ事業者への市独自の中小企業者等経済変動対策支援金の給付、市内の消費喚起には電子クーポン「おのおの割」の発行、さらに資金調達の低金利・長期返済支援、また小規模事業者の経営改善の支援、まちなかのにぎわいを再生・創出するようないイベントなどへの補助を行っている。今後も、市内事業者や市民の皆さまが必要とされる支援を必要なタイミングで届けていく。

問 8月4日の記録的短

時間大雨による被害対応の検証と減災についての考えは。

答 大雨警報発表から約2時間という短時間に、突発的で激しい雨が観測され、低い土地で床上・床下浸水の被害が発生した。今回の大雨を受け、大雨注意報の発表や台風など大雨の予報があった場合、降雨がないときでも状況に応じた水門操作を事前に実施する水防体制の見直しを行った。浸水被害を軽減するには河川改修が重要だが、完成までかなりの時間を要するため、河川などへの集中的な雨水流入を抑制するために、公園や公共施設などを活用し、一時的に雨水を貯留する施設について検討する。市が管理する河川に堆積する土砂は、引き続き計画的に除去していく。

一般質問

コロナ感染症の検査、診療、重症化リスク対応は



日本共産党大野市議員団

さかえ まさお
榮 正夫 議員



自宅療養等のサポート・重症化対応は県中心に行っているため、市では把握していない

問 コロナウイルス感染症に対する対策の基本は、予防、早期発見、早期治療であるが、重症化リスクへの対応、検査体制、診療体制はどうか。

答 国内では流行第7波が続き、県内の累計感染者数が10万人を超え、県独自の感染拡大警報が延長された。市内でも7月以降、ほぼ毎日新規感染者が確認されている。

問 自宅待機中の重症化対策は、どのような措置があるのか。

答 現在自宅療養者についてのサポート支援は県が行っているため、市では把握をしていない。

問 これから、秋を経て冬季に向かう。福祉灯油制度の設置が求められているが。

答 新型コロナウイルス感染症の長期化、ロシアのウクライナ侵略の影響による物価高騰が続いている。

問 こうした中で、住民税非課税世帯に1万円の市独自の生活応援給付金を支給しており、8月末には2628世帯に給付済みである。

問 他の市町には福祉灯油制度があり、大野市になければなぜかとなる。

答 今後、国・県の動向を注視して対応したい。

通勤・通学のダイヤ改正など、JRへの働き掛けは



新風会・公明
はやし 順和
議員



ハピラインふくい^(※)とタイアップし、要望を続ける

(※)ハピラインふくいとは、北陸新幹線開業に合わせてJRから分離される並行在来線を運行する第三セクターのこと

- 問** 改訂予定の大野市都市マスタープランにおいて持続可能な移動システムの構築が打ち出され、さまざまな主体による交通手段の確保に取り組むとしているが、阪谷地区での検討状況や事業者協力等の可能性は。
- 答** 地区で出された不安や課題を解消する手法として共助型の実証実験の実施を視野に取り組みを進める。令和6年度からの新たな交通体系に向けて、協力いただける事業者を探して一緒に工夫をつくり上げていきたい。
- 問** 通勤・通学のダイヤ改正を求める声に対して、JRへの働き掛けは。
- 答** 再三、利便性向上を求めているが、返事が重い。ハピラインふくいとタイアップも考えて要望を続けたい。
- 問** 越前大野駅周辺活性化に向けた高校生ワークシヨップで出た提案は。
- 答** 沿線の魅力をまとめた観光マップの作成と、文房具や特産品などの無人販売所を設置する二つの案の実現に向けて内容を磨き上げていく。
- 問** 星空観光などを進める上で重要となる夜の移動手段確保の状況は。
- 答** タクシーも公共交通機関であり連携は大切。需要の減少や運転手不足から夜間の運行を取りやめているが、利便性向上に向け、市公共交通活性化協議会で協議する。
- 問** 協働のまちづくりを担う市民や事業者からの要望が市長まで届いていないとの声があるが、組織体制を見直す予定は。
- 答** 行政経営部長として市長へ届く方策を考えた。各責任部署で処理したのも市長まで報告されるようにする。

補聴器助成制度の充実を求める

限られた財源の中でより効果的な事業を模索していきたい



日本共産党大野市議団
のむら 野村 まさと
議員



- 問** 補聴器助成制度の現状は、聴力レベルが70デシベル以上で身体障害者手帳を取得しないと補聴器の助成が受けられない。高齢になっても生活の質を落とさず心身ともに過ごすことができ、認知症の予防、健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながるといふことで、中等度難聴から助成している自治体がある。
- 答** 例えば岐阜県輪之内町では、町内に居住している満65歳以上で、両耳の聴力レベルが40デシベル以上の方で、購入費8万円以上の場合4万円、購入費8万円未満の場合、購入費の2分の1が助成されるようになっていいる。このような制度を県にも要望して、その実現を求める。
- 問** 市独自に拡充する予定はないが、現段階では
- 答** 制度を活用し、難聴者及び難聴児に対する福祉向上に取り組み、いつまでも健康的に暮らせるよう、限られた財源の中でより効果的な事業を模索していきたい。
- 問** 大野市公共下水道事業は収入総額が約7億円。そのうち営業収益が約1億5千万円と差額があまりにも大きい。その差額は一般会計や補助金であるが健全な会計なのか。敷設した下水道管等が老朽化し更新時にかかる費用は積み立てているのか。補助金や借入金はいつまで続くのか。
- 答** 整備に当たっては起債の借入れをしている。既存施設についても、更新に当たり、補助金の有効な活用と場合によっては起債の借入れも必要と考える。

一般質問

1年前倒しして陽明中、開成中に行くことも考えているという声がある。子どもたちの声を聞き、丁寧に対応すべきだ



新風会・公明
ひろせ 浩司
議員



基本方針については大人が責任を持って決め、その運用については、児童・生徒の思いを尊重する。

問 再編前の部活動の交流については、来年の新人戦まで現在の部活動を継続して、それ以後は再編を待たずに交流を進めるとのことだが、方針に変わりはないか。

答 令和5年度秋の新人戦まで、現在の学校で活動するという事で間違いない。

問 尚徳中、上庄中へ進学する小学生の中には、1年前倒しして陽明中、開成中に行くことも考えているという声がある。1年前倒しして陽明・開成に行って部活動を行い、次の新入生である現在の5年生が入ってくる時に、先輩という形で迎えたいと思う。

答 今まさに子どもたちの声を聞き、丁寧に対応すべきだ。

問 基本方針については大人が責任を持って決め、その運用については児童・生徒の思いを尊重する。学習においても、部活動においても、交流については、子どもたちの思いも尊重しながら積極的にやっていきたい。

問 校舎改修について、下庄小の概算工費が7億円、陽明・開成は10億円と出ているが、調査の結果これよりも増えることも減ることもあるのか。

答 校舎を80年持たすというのをメインに、いろんな調査を行い、長寿命化を果たしていく。それに加え児童・生徒の学習環境の改善ということにも、改めて事業費を出していく。資料の高騰が続いているが、極端に増額することがないよう、内容を精査して事業費を算定していきたい。

一般質問

新型コロナ後遺症と疑われる症状や対策を広報する必要があるのでは



新風会・公明
いとう ゆき
伊東由起恵
議員



広く市民に知ってもらえるよう、市ホームページ等で周知していく

問 新型コロナウィルス感染症による後遺症の疑いがある症状を子どもが訴えた場合、学校ではどういった対応をしているのか。

答 保健室で話を聞きながら休養させたり、スクールカウンセラーに話を聞いてもらったりしている。症状が改善されない場合には、病院への受診を勧め、薬を処方されたケースもあった。

問 後遺症と疑われる症状に苦しんでいる人に向けて、後遺症の症状や対策を広報する必要があるのではないか。

答 後遺症とみられる症状や対処方法について、広く市民に知ってもらえるよう、市ホームページ等で周知していく。

問 本市の男性の育児休業取得の状況は。

答 市全体の男性の育児休業の取得状況を示す統計はないが、市職員について、令和3年度は9.1割となっている。

問 令和4年度の厚生労働省の「仕事と育児等の両立に関するアンケート」において、夫の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生割合が高いということが明らかになった。男性の育児休業取得率をさらに高めるため、大野市育児休業等取得促進事業補助金の活用がもっと進んでいくよう、ニーズや使いやすいなど検討していくべきでは。

答 支援策があることを企業に周知するほか、今後は子ども支援関係の部署とも連携しながら、働きやすい企業認定についても積極的に進めていきたい。

工事中に何かあったら即工事を中止してほしいと、住民説明会で要望が出たが

工事を止めて原因を突き止め、異常がなくなったら再開する



無党派

梅林 厚子 議員



問 泉町・清瀧地区の下水道工事説明会には何人が参加し、合意形成はできたか。

答 泉町2区29人、3区15人、清瀧区16人。参加された方々の理解を得たと認識している。

問 整備困難道路に位置する世帯及び清瀧地区の赤根川左岸側に位置する世帯の汚水処理はどのようになるのか。

答 下水道の整備が可能となるまで整備を見送る。それまでの段階的な対応として合併処理浄化槽での汚水処理をお願いする。

問 本工事中は仮設水道を利用してもらうとのことだが、敷設・撤去に係る費用は。

答 仮設給水管の敷設・撤去費用は、仮設工事全体で約2500万円、仮設水道の使用料は285世帯分で約380万円と見込んでいる。

問 何かあったら補償する

とはどのようなことか。

答 ポンプや浅い井戸について下水道工事との因果関係が見られたら、補償等を考えている。

問 井戸を使わないことによるポンプの故障も、その費用を市が補償してくれるのか。

答 ポンプの状況を事前に調査しているので、不都合が出た場合は、臨機応変に確認しながら対応していく。

問 仮設水道を飲みたくない人への対応は。

答 意向を尊重したいが、非常時のために仮設水道に切り替える準備をする。

問 工事中に何かあったら即工事を中止し住民に公表、調査し原因・問題が解決するまで工事を進めないことを要望する声が、住民説明会が出たが。

答 工事に影響が出た場合は工事を止めて原因を突き止め、異常がなくなったら再開する。

市道などの道路施設修繕の要望の対応は

要望の内容を確認して、丁寧に対応していきたい



清風会

堀田 昭一 議員



問 大野油坂道路大野ICから勝原ICまでの開通記念イベントの内容や市内外へのPRは。

答 ハイウェイウォークを中心とした市民参加型のイベント実施に向け、開催内容の素案をまとめている。その約半年後の令和5年秋に予定されている九頭竜ICまでの区間の開通時にも、記念イベントの開催を予定している。

問 県内外、特に中京圏に對して、中部縦貫自動車道の利便性・機能性の周知に努める。

問 市道などの道路施設修繕の要望件数はどれくらいあるのか。

答 令和3年度の実績として、維持管理に関する要望が241件、改良に関する要望が17件あった。

問 出されている要望を早い段階でかなえてもらいたいと思うが。

答 要望の内容を再度吟

味して、丁寧に対応していきたい。

問 道路施設の修繕計画を見える化し、市民と共有していく考えは。

答 考えていきたい。

問 真名川河川敷のサイクリングコースの維持管理は。

答 草刈りが主な維持管理で大部分は市職員で対応している。今後、機械化を考え、しっかりと管理していきたい。

問 真名川の堤防天端をコースとして利用する区間では、堤防のり面で樹林化が進み、有害鳥獣のすみかとなり、農作物の被害拡大の一因になる恐れがある。

何年かに一度は堤防のり面の樹木伐採等をお願いしたいが。

答 河川堤防の樹林化しているところについては、鳥獣害を防ぐために、奥越土木事務所と協力をお願いしていく。

8月4日の水害被害を小さくする対応を、どう評価しているか



未来おおの
木戸屋八代実 議員



一般質問

この経験を生かして、防災危機管理体制の強化に取り組む

- 問** 8月4日に発生した水害の被害を小さくするためにどのような対応を行ったのか。その措置をどう評価しているのか。
- 答** 大野市地域防災計画や防災行動マニュアルに基づき対応している。今回は、県内ではいち早く災害対策本部を設置し、避難所の開設、避難情報の発令などに努めた。4日の突発的で激しい雨に対してはその対策を即断して、各担当は状況に合わせて応急対策に取り組んだ。職員と消防団員が連携して、土のうの設置、ポンプ車での排水作業、避難広報を実施した。また、早めの清滝川の水門操作により、市内に流れ込む水量調整をした。今回の大雨により得た経験は、今後の本市の災害対策につながる重要なものである。この経験を
- 生かして、防災危機管理体制の強化に取り組む。
- 問** 昨年度改定した屋根雪下ろし支援について、成果と課題は何か。
- 答** 雪下ろし作業者の登録を幅広く募ったことにより、令和2年度登録件数の154人から、昨年度は702人へと大幅に増加した。また、雪下ろし費用を業者が明示するようにしたため比較がしやすくなった。雪下ろし支援のさらなる周知に努める。
- 問** 株平成大野屋の今後の在り方についてどのような対応していくのか。
- 答** まちなかのにぎわいの創出や活性化を図るため、平成大野屋、大野市観光協会、大野商工会議所の観光案内業務の各機能を統括して運営する新たな組織への見直しについて検討を行っている。

小学校の設計料に比べて、二つの中学校の設計料が異常に高い



双葉会
高岡 和行 議員



国土交通省が示す基準に従って積算した

- 問** 市長の政治姿勢について問う。行財政改革の進捗（しんちよく）はどうか。
- 答** 財政は健全な状況にあると言える。一般会計、特別会計、企業会計の地方債残高の合計は224億円余りで、10年前と比べると約8億円の減となっている。今後も健全な財政運営に努める。
- 問** 稼ぐ力向上の施策で自主財源は増えているのか。
- 答** 令和元年度以前から比べると減少している。
- 問** 本市が向かう方向は産業か観光か。
- 答** 市内事業者と連携を図り観光消費額の拡大に取り組む。観光誘客による民間消費額の市外からの流入増加が必須である。
- 問** 道の駅開駅後、来場者が100万人を突破したというが、土日に七間朝市や商店街を散策する人が減少しているように、
- 大型商業施設の客も減少しているのでは。観光白書ではどうなっているのか。市街地への誘客は。
- 答** 観光白書については把握していない。市内の観光施設にも入ってもらえるように努力している。
- 問** 小中学校改修工事でのように変わるのか。
- 答** 学校の特色を生かした改修を行う。
- 問** 実施設計に向けたブレゼンテーション審査は何を重点的に行ったのか。
- 答** 児童・生徒の負担を軽減する工法や工程など。
- 問** 小学校の実施設計料に比べ、二つの中学校の実施設計料が異常に高いのか。
- 答** 国土交通省が示す基準に従って積算した。
- 問** 工事費の3割から4割が通常の実施設計料と聞かすが、高すぎるのでは。
- 答** （理事者からの答弁が得られず終了）

▽産経環境

(白崎委員長、廣瀬副委員長
梅林、永田、松田、榮)

湧水地散策広場の整備

◎理事者の説明

現在整備している簡易裁判所跡地の広場については、大野藩の大手門があった場所であることから、「大手門広場」という名称で、令和5年春の供用開始を予定している。

◎委員の意見

整備後の広場が本市の玄関口として、結ステーションと一体となり、市民や観光客がにぎやかに集うエリアとなることを期待する。

大野油坂道路大野・勝原
間開通記念イベント

◎理事者の説明

中部縦貫自動車道大野油坂道路大野ICから勝原IC間の令和4年度の

開通を記念して、本市と中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会で構成する実行委員会において、市民等が参加できるハイウェイウォークを開催する。

◎委員の意見

本区間を歩くことができる貴重な機会であるので、多くの市民が参加し、思い出に残るものとなるよう努め、令和8年春の県内全線開通に向けて機運を高められたい。

平成の湯の再開

◎理事者の説明

4月1日から休館になっていた平成の湯については10月上旬の再開を目指して諸準備を進めている。

休館前に購入されたプリペイドカードは、施設再開後も引き続き使用可能だが、本年度末を有効期限とする予定である。

◎委員の意見

施設再開の日やプリペ



平成の湯

イドカードの使用などについて、周知に努められたい。

クリーン農業スタート事業補助

◎理事者の説明

既に所有しているエンジン式刈り払い機からバッテリー充電式刈り払い機への買い換えや新規購入を支援し、環境に優しい農業につなげる。

◎委員の意見

本市の基幹産業である農業分野においても、脱炭素化を計画的に進められたい。

12月市議会定例会のお知らせ

市議会の本会議は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局（3階）で受け付けを済ませてから、傍聴席（R階）にお入りください。

日程は、予定のため変更になる場合があります。本会議と常任委員会の開会時間は午前10時を予定

しています。人口減少対策特別委員会の開会時間は午前10時、未来へつなぐまちづくり特別委員会の開会時間は午後1時を予定しています。ただし開会前の会議により遅れる場合もあります。

詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。(☎0779-64-4830)

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28 本会議 (開会)	29	30	12/1	2	3
4	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 常任委員会 (産経環境)	8 常任委員会 (教育民生)	9 常任委員会 (総務生活)	10
11	12 特別委員会 (人口減少対策) (未来へつなぐ まちづくり)	13	14	15 本会議 (閉会)	16	17

▼教育民生

(林委員長、川端副委員長、
木戸屋、高田、高岡)

文化財保存活用地域計画 推進事業

◎理事者の説明

大野市文化財保存活用
地域計画が7月に文化庁
の認定を受けたことによ
り、本計画の推進並びに
進捗(しんちよく)管理
を行う大野市文化財保存
活用地域計画推進協議会
を設置し取り組む。協議
会委員には、文化財に精
通した有識者のほか、観
光関係者も予定している。

◎委員の意見

観光や地域づくりにお
ける文化財の活用を積極
的に推進することで、本
市にある文化財の価値を
高められたい。

小中学校における施設維 持管理

◎理事者の説明

資材価格の高騰や突発
的な故障等により、当初

予算に不足が生じるため
補正予算を計上した。

◎委員の意見

学校再編を控える中、
修繕の必要性や設備の再
利用などを十分考慮し、
施設管理をされたい。有
終西小学校が入る学びの
里「めいりん」は、近年、
修繕が多く発生している
ため、その実績を確認し
た上で、管理運営につい
て議論していくこととす
る。

出生数の減少に歯止めを かける施策

◎理事者の説明

年々減少する出生数を
増やすには、子育て支援
を充実していくだけでな
く、労働や移住などさま
ざまな施策が関わってこ
る。

◎委員の意見

出生数の増加に向けて、
各施策の効果・成果や課
題を検証し、市外の方に
も大野市で子どもを産ん
で、育てて、学ばせたい
と思っただけの環境
づくりに重点を置いた

「大野ですくすく子育て
応援パッケージ」とされ
たい。

スポーツ施設の管理

◎理事者の説明

真名川憩いの島トイレ
新築工事について、請負
業者が決定し、令和5年
1月中の完成を目指して
いる。

◎委員の意見

スポーツ施設の在り方
については、当委員会に
おいて継続して議論して
いく。施設の維持管理経
費を考慮し、利活用策や
今後の施設運営をどのよ
うに行っていくのか、早
急な検討をされたい。

▼総務生活

(廣田委員長、伊東副委員長
松本、堀田、野村、畑中)

マイナンバーカードの普 及促進

◎理事者の説明

マイナンバーカードの
取得を促進するため、市

では特設窓口の開設、公
民館での常時受け付け、
企業・団体等に対する出
張申請窓口の利用呼び掛
け、市職員による声掛け
運動などを行っている。
現時点の本市の普及率
は、県内9市で三番目に
ある。

市職員の業務改善

◎理事者の説明

市では、昨年度から民
間企業のノウハウを活用
した業務再構築を進めて
いる。

これまでに電子決裁の
導入など業務処理方法の
見直し、業務管理用ソフ
トの活用による事務の効
率化、また職員作成のア
プリにより、データベ
スからの書類作成の自動
化など業務の効率化を行
った。

◎委員の意見

引き続き業務改善を進
め作業時間を短縮し、市
民サービスの向上に努め
られたい。

への小型除雪機の購入補
助などを試験的に行うも
のである。

◎委員の意見

小型除雪機の購入補助
は、旧和泉村で同様の事
業が行われていた。
その時の課題なども考
慮し、故障時の対応など
運用上の取り決めをしつ
かりと定めた上で実施さ
れたい。

公民館に寄せられる声への 対応

◎委員の意見

公民館は、地域におけ
る身近な窓口として、地
域住民と市をつなぐバイ
プ役の機能を果たすこと
が重要である。
住民からのさまざまな
声に対して、市組織内の
連絡を迅速に行い、声を
届けた住民に対しては、
早期に確実に返答するこ
とを徹底されたい。

◎委員の意見

マイナンバーカードの
普及促進には、市民がマ
イナンバーカードを所持
することにより、幅広い
サービスを享受できる仕
組みづくりが大切である。
マイナンバーカードの有
効活用に関して、市内で

豪雪地帯安全確保緊急対 策事業

◎委員の意見

本事業は、除排雪作業
時の死傷事故防止を目的
とした地域安全克雪方針
の策定に併せて、雪下ろ
し用命綱アンカーの有効
性の確認や、地域ぐるみ
で雪下ろしを行う自治会



令和4年9月第429回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

全会一致で可決・承認・同意された議案等

議案番号	議決結果	議案名	議案番号	議決結果	議案名		
市長提出議案	41	可決	令和4年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)案	市会案	5	可決	免税軽油制度の継続を求める意見書について
	42	可決	令和4年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)案		6	可決	大野市議会委員会条例の一部を改正する条例案
	46	可決	大野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	陳情	5	趣旨採択	地方財政の充実・強化に関する意見書採択について
	47	可決	市道路線の認定について		6	採択	免税軽油制度の継続を求める陳情書
	48	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度大野市一般会計補正予算(第3号))	◎次の議案は、全会一致で継続審査となりました。			
	53	可決	令和4年度大野市一般会計補正予算(第5号)案	議案第49号	可決	令和3年度大野市歳入歳出決算認定について	
	54	同意	人権擁護委員候補者の推薦について	議案第50号	可決	令和3年度大野市水道事業会計の決算認定について	
議案第51号				可決	令和3年度大野市簡易水道事業会計の決算認定について		
			議案第52号	可決	令和3年度大野市下水道事業会計の決算認定について		

各議員の表決が分かれた議案等

議案番号・議案名等		議員名(議席番号順)	議決結果	廣瀬浩司	木戸屋八代実	林順和	白崎貴之	伊東由起恵	松本嘉彦	廣田憲徳	堀田昭一	高田育昌	野村勝人	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	川端義秀	高岡和行	畑中章男	榮正夫
市長提出議案	40	令和4年度大野市一般会計補正予算(第4号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○	○	×
	43	令和4年度大野市水道事業会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○	○	×
	44	令和4年度大野市簡易水道事業会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○	○	×
	45	令和4年度大野市下水道事業会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○	○	×
陳情	7	「名水百選“御清水”を守る」ことを求める陳情書	不採択	否	退	否	否	否	否	否	否	賛	賛	否	/	否	賛	賛	賛	

議長(松田元栄)は採決に加わらないので「/」で表示。議案に賛成○、反対×。退場は「退」と表示
 陳情7号はまず継続審査とすることを否決し、その後、陳情の願意について採決。賛成「賛」、願意を否とする場合「否」

● 請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。

請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。

定例会初日の午後5時までに提出しますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載し、持参してください。

- ① 請願・陳情の趣旨(具体的に)
- ② 提出年月日、提出者の住所・氏名(押印必要)
- ③ 請願書の場合は、紹介議員の署名(1人でよい)
 詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。
 (☎0779-64-4830)

● 会議録の公開

本会議の会議録は、図書館や議会図書室で閲覧できるほか、大野市ホームページでも公開しています。また、各委員会の会議録は、情報公開制度によって、公開を求めることができます。

ただし、会議録の調整に、一定期間を要します。

● 委員会も傍聴できます

常任委員会及び特別委員会は申し出により傍聴することができます。

傍聴の申し出書は、議会開会日から受け付けますので、議会事務局まで申し出ください。

なお、入室できる人数に限りがあるため、先着順で受け付けを締め切らせていただく場合があります。

特別委員会 報告

▼人口減少対策特別委員会

(堀田委員長、木戸屋副委員長、廣瀬、林、白崎、永田、榮)

「第六次大野市総合計画 評価報告書」の結果説明 と人口減少対策

◎理事者の説明

人口減少対策に係る主な取り組みや外部評価委員からの意見、総合評価について説明。

◎委員の意見

人口減少対策として取り組む施策が、若い世代のニーズに即しているか、各種情報が必要な方へ正しく行き届いているかなどを検証し、庁内で協議を行い、子育て支援や就労支援などの各施策が本市の実情に合致し、効果が期待できるものとなるよう努められたい。

新しいひとの流れをつくる

◎理事者の説明

庁内関係課と三つの外部機関による「越前おおいのIJU（移住）サポートチーム」では、移住希望者への迅速かつ効果的な支援を行うことを目的に、各分野のサポートを横断的に調整している。

◎委員の意見

移住・定住希望者への丁寧な情報提供に努めるとともに、大野に住みたいと思ってもらえる事業について、部局間の横断的な取り組みを推進されたい。

「放課後の子どもの居場所づくり」アンケート

◎アンケート結果

子どもの放課後の過ごし方に84割の保護者が概ね満足している一方で、家でゲームばかりしている、悪天候時に外遊びできない遊び場が少ないなどの意見もあった。

◎委員の意見

保護者から放課後や長期休業中の子どもの居場所を求める声や、コロナ禍により児童センターに自由に行くことができないことへの不満や、センターの充実を求める声がある。

子どもたちが集まっても、それぞれにゲームをしている現状があり、居場所づくりでは、ゲームの制限が必要ではないか。

◎委員の意見

居場所における公共の責務と保護者の責務を整理した方がよい。

▼未来へつなぐまちづくり特別委員会

(川端委員長、梅林副委員長、伊東、松本、廣田、高田、野村、畑中)

中部縦貫自動車道大野油坂道路の工事進捗（しんちよく）状況

◎理事者の説明

大野・勝原区間の橋りょうは、上部工が完成しているものは7本、残る6本も橋桁までが完成し床版工事が進められてい

◎委員の意見

一日も早い供用開始に向け、国道158号改修促進期成同盟会や福井市

勝原・九頭竜区間の橋りょう2本は共に上部工が完成。九頭竜・油坂区間の橋りょう20本のうち、2本の上部工が完成し、13本で橋台や橋桁などの工事が進められている。

◎委員の意見

今後とも工事現場において事故が発生することのないよう注意喚起されたい。また、トンネル掘削工事等に伴う水枯れなどが懸念されるので、そういったトラブルが発生した際には、住民生活に支障を来すことのないように迅速かつ丁寧に対応されたい。

一般国道158号境寺・計石バイパスの整備

◎理事者の説明

本年度は設計業務と二位町・薬師町・境寺町などの各地係で用地補償の個別交渉が進められる。

◎委員の意見

企業進出により造成地が舗装化され雨水浸透が抑えられるよう、早期の企業誘致に努める。

と連携し、県への積極的な要望活動に取り組みたい。

富田産業団地の被災対応

◎理事者の説明

8月4日の短時間の大雨により、団地のり面の一部が崩壊した。

◎委員の意見

対応として、暗きよ排水管を設置して排水を強化する。

◎委員の意見

大雨になると、再び同様の被害が発生するのではないかと。耐用年数により防草シートの張り替えが必要となった際には、別の方法でのり面を保護することを検討してほしいか。

◎理事者の説明

企業誘致により造成地が舗装化され雨水浸透が抑えられるよう、早期の企業誘致に努める。

編集後記

コロナ禍・異常気象・ロシアによるウクライナ侵略が続く中で物価高。原材料の高騰や円安などを背景に10月には6700品目以上の食料品が値上げされ、家計や中小企業を直撃しています。

9月定例会では、陳情「地方財政の充実・強化に関する意見書採択について」を全会一致で趣旨採択、陳情「免税軽油制度の継続を求める陳情書」を全会一致で採択しました。また、市会案「免税軽油制度の継続を求める意見書について」を全会一致で可決し、議会の機関意思決定権を行使して、政府関係機関に意見書を提出することとしました。

厳しさが増す秋ではあります。市民生活向上に向け、今後も国・県・市・関係機関に働き掛けてまいります。(座長 野村 勝人)

議会だより編集委員会

委員 野村 勝人
木戸屋八代実
林 順和
廣田 憲徳
高岡 和行

※次回は、1月下旬の発行を予定しています。

